

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 2月 25日

事業所名 子どもの広場桑名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11	0	7.刺激を受けてしまう時は、他の療育といっしょにならないようにしている。集中して行えるよう工夫している 9.人数調整を日々行っている 10.日ごろから整理を行い、十分なスペースを確保している	
	2	職員の配置数は適切である	8	3	7.個別への対応を意識して配置している 9.個別療育と放デイの支援を兼務する	10.現場で即戦力となる人員を募集したい 11.少ないと思う
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	3	9.利用者の気持ちに沿えるようなサービスが出来るように工夫している	7.賃貸のため工事ができていない 10.バリアフリーではないが、困っていることはない
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	11	0	7.使用前後に消毒、掃除等しっかりと行っている。危険の内容、ケガ防止シールなど貼っている 9.清潔で気持ちの良い環境を心掛けている 10.その都度整理を行い、清潔を保てるよう一日の終わりには必ず掃除をしている	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10	0	7.情報を共有し合い支援の方向を考えている 9.利用者が楽しく安全に利用してもらえるように、日々スタッフ一同話し合っている 10.毎日、職員間で打ち合わせと引継ぎを行い情報共有を進め、業務の円滑化を図っている	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10	0	7.評価表は全職員目を通して話し合いもしている 9.保護者の評価をえに、改善すべき真を話し合い更に良い事業所になりように努力している	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	1	7.公開している 9.保護者の方に満足してもらえるような事業所になるよう努力している	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	1	9.地域密着型のいむしょとなりように努力していけるように努めている	5.分かりません 7.業務改善につなげていきたい
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	1	7.支援に繋がる研修があれば参加し情報を共有している	9.事務所同士で連絡を取り合い研修の機会をできるだけ取るようにしていく 10.あるが少ない。強度行動障害研修等を実施したい 11.少ないと思う
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	11	0	7.個別担当スタッフ、子どもや保護者と話し合いながら支援の方向性を決めている 9.支援者や保護者の話を聞いてその子に合わせての支援計画を作成していけるように工夫している 10.管理職に情報を共有し、そうなるようにしている	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	0	7.アセスメントシートを標準化して使用している 9.その子の特性に合った内容でサービス(療育)を提示している 10.ホワイトボードに一日の予定を示している	

適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	11	0	9.本人以外の家族支援が必要な場合も、可能な限り寄り添った支援をしていくように努めている	7.スタッフもガイドラインを見つめ直し現状の支援内容との調合性を確認していく
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	11	0	7.計画を作成しモニタリング、日々の記録で振り返りも行っている 9.その子に合った支援をするように心がけている 10.職員間で情報共有している	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	1	7.職員間で話し合い相談している 9.スタッフが連携を取って行っている 10.職員間で案を出し合いながら	11.わからない
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11	0	7.利用者さんの発達に合わせて、プログラムを作成している 9.スタッフで密接に話し合っている	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	11	0	7.個々に合わせて支援計画を作成している 9.その時に合わせた対応を取っていけるように計画を立てている	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	0	9.ミスなどが起きないように確認を重ねていくようにしている	7.担当に任せた個別療育になっているため打合せを行うようにしていきたい
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	1	9.落としが無いように伝達をしたり、気付いたことを伝え合うようにしている	7.終了後も行っていきたい 11.毎日は難しい
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11	0	7.記録をもとに職員間で話し合ったり意見交換も行っている 9.記録を欠かさずに連携を取っている 10.毎日記録を取り、次のサービス提供へ活かしている	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	11	0	7.半年に1回は必ず計画の見直しを行っている 9.定期的に行って、その子に合った計画が立てられるように配慮している	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10	0	7.管理責任者と必要に応じて療育現場で最も関係が出来るスタッフが同行し会議に参加している 9.療育支援者が参画するようにしている	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	10	0	7.見学に来てもらったり、様子を伝えたり、連携を取りつつ支援を行っている 9.連絡を取り合って連携した支援を行うようにしている 10.行っている(モニタリング相談員)	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	4		7.該当なし 9.なかなかそこまでの支援ができていないのでできるように努力していきたい 10.情報としては得るが、他機関との連携はしていない 11.対象無し
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	5		5.分かりません 7.該当なし 9.なかなかそういった体制を築いていくことは難しいが出来るようにしていきたい 10.整えていない 11.対象無し
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	3		7.あれば連携を取っていききたい 9.お互いが歩み寄っていけるように配慮していきたい 10.移行支援を行っていない
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	2		7.あれば連携を取っていききたい 9.情報共有が出来ているところでできていない所があるので、全体的にムラなく情報共有できるようにしていきたい 10.移行支援を行っていない
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	2		7.機会があればもっと参加したい 9.連絡を取り合うような機会が少ないので意識して取り合えるようにしていきたい 10.受けていない 11.わからない
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	7		5.分かりません 7.利用者さんの現状やニーズを見たらうで交流の機会を検討していきたい 9.個人的にそういった機会がある子もいれば全くない子もいるので事業所としてそういった機会を作りたい 10.ないが、あってもいいと思う 11.ない
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7	3		7.参加できるのであれば参加したい 9.積極的に参加するという事がなかなか難しいのでそういった機会を作りたい 10.参加していない
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	11	0	7.個別療育終了後に行っている 9.日ごろから子供の様子はよく見て保護者にはその様子を丁寧に伝えている 10.その日の出来事を保護者に伝え、個々の利用者の現在の課題を共有するように心がけている	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	7	3	7.個別療育終了後に行っている	5.分かりません 9.なかなか家族支援までは出来ていないのが現状である 10.行っていない
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	0	7.利用を始める前に丁寧に伝えている 9.出来る限り丁寧に保護者に説明できるように努めている 10.管理責任者が行っている	

保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10	0	7.同意を得ている 9.同意を得て頂けるような計画を出すようにしている 10.得ている。説明は必ず行う	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11	0	9.出来る限りそのように努力している 10.その日の出来事を保護者に伝え、個々の利用者の現在の課題を共有するように心がけている	7.普段の療育でも行っているが個別での対応も増やすなど検討していきたい
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	5	7.集団療育終了後に保護者さん同士が話せる機会を提供している	9.なかなかそこまでは出来ていないが、していけるように努力したい 10.分からない。自分はしていない 11.意図しては行っていないと思う
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	11	0	7.速やかに対応するように心がけている 9.出来る限り意に沿えるように努力している	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	1	7.ブログで発信している 9.ブログや予定表はこまめに作り発信している 10.カラーの楽しい雰囲気があるイベント告知広告を来月の予定表と共に配布している	11.特にしていない
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	11	0	7.同意書を取り交わすなど十分に注意して行っている 9.十分すぎるほどしている 10.そのとおり	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11	0	7.出来るだけわかりやすく文字に残すなど心掛けている 9.保護者の配慮は十分している 10.絵カード、マカトンを使用している	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	5		7.今後何かあれば検討していきたい 9.なかなかできていないので、そういった機会を作っていけるように努力していきたい 10.今はしていないが、夏祭りなど企画を考えている 11.コロナがおさまったらやってみたい

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	2	9.定期的に行っており避難訓練も様々なシチュエーションで行っている 10.毎月避難訓練を行っている	5.分かりません 7.保護者への周知は不十分なので今後実践していきたい
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	2	9.スタッフもしっかりとした話し合いを行っている	6.非常勤なのでわかりません 7.毎日行っているが児童発達の子が利用する時に行っていたいので今後実践していきたい
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	11	0	7.契約時に確認している 9.十分に留意し確認している 10.聞き取り調査で把握している(アセスメント)	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	3	7.契約時に確認している 9.スタッフ全員が周知している	5.分かりません 11.医師の指示かは分からないが、母親の意向は聞いている
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	0	7.全職員で共有し、対応している。引き続き作成していきたい 9.スタッフの話し合いは十分に取れている 10.事故報告書を書いて共有している	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	0	7.職員間、報・連・相を密に行っている 9.十分に対応している 10.新人研修において研修を受けた	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	10	0	7.チーム内で相談し適切な対応をとれるようにしている 9.子供の安全確保のための拘束は仕方ないが十分に保護者には説明している		